

保育ソーシャルワーク の必要性

平成 28 年 3 月に出された「新たな子ども家庭福祉のあり方に関する専門委員会報告（提言）」（社会保障審議会児童部会）の中では、「家庭への支援を必要とする子どもが増加していることから、保育所におけるソーシャルワーク機能の強化や地域との連携が必要となっている」と述べられています。

そこで、本公開研究会では、保育に携わっている方々に必要な「保育ソーシャルワーク」とは何かを示し、保育の現場において対応に困っている事例にソーシャルワークの視点と方法からどのように支援していくことができるのかを考えてみます。

講演 「保育ソーシャルワークの必要性」

参加無料

長谷川俊雄氏（白梅学園大学教授）

事例検討 保育所等における相談事例報告と検討

報告者 多賀城市笠神保育所所長 千田節子氏

ワッセ森のひろば保育園園長 工藤範男氏（元宮城県社会福祉士会長）

ほか

助言者 長谷川俊雄氏ほか保育に関連する専門家を予定

日時 2016 年 12 月 17 日（土）13:00～16:00

13:00 開始

13:05～講演

14:40～事例検討（保育現場からの事例報告と検討）

16:00 終了（終了後、新設なった本学附属認定こども園を見学できます。）

場所 宮城学院女子大学 K209 教室（当日ご案内します。）

対象 保育所・児童館に勤務する方、保育ソーシャルワークに関心のある方

主催 宮城学院女子大学発達科学研究所

〒981-8557 宮城県仙台市青葉区桜丘 9 丁目 1 番 1 号

TEL 022-277-6210 e-mail child@mgu.ac.jp(紺野)

後援 一般社団法人宮城県保育協議会、一般社団法人宮城県社会福祉士会、宮城学院女子大学附属認定こども園「森のこども園」（予定）

